

ふわりんこ 風話鈴香

2025 年
第 146 号
初夏号

私達の目指すもの

- 一、地域に開かれた施設
- 二、入居者、家族、施設、地域のみなで作る福祉を！
- 三、老人と共に生きがいを見い出す生活を

発行所 社会福祉法人阪神共同福祉会園田苑

発行責任者 理事長 中村 大蔵

〒661-0972 尼崎市小中島 1-1-1 8 TEL06-6493-3731 <https://www.sonodaen.com>

五月恒例「青空喫茶」オープン！

今年もこの日がやってまいりました。お天気に恵まれ、こいのぼりも良く泳ぎ、絶好の喫茶日和となりました。今年は阪神医生協の方にもお手伝頂き、いつもお世話になっているボランティア園さん、お馴染みのハーモニカ部隊、そして和太鼓の方々を新たに迎え、いつもの喫茶に新たな彩を加え、開店の時間を迎えました。面会に来られたご家族と入居者様は、いつもより長くゆつくりとお話をされているご様子。やはりこのような光景を見るとときっかけ作りは積極的になければ！と感じます。

苑内にいた入居者様も和太鼓の音につられ、どんどん集まってこられ、普段静かに生活している体には、太く力強い音が心地よく響いたことでしょう。暑い中、イベントもあり大忙しではありましたが、ご参加くださった方々に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

(特養 山根 靖恵)



イベント参加者よりのご感想
園田苑の大切な仲間「ボランティアグループ園」川崎かおりさん
花丸級の五月晴れの五月三日「園田苑」恒例の「青空喫茶」が開催されました。メニューには、職員さん手作りのケーキ。見事な出来映えで、即売り切れ。期待通りの味に「ごちそうさまでした！」和太鼓の実演では力強さと迫りに圧倒されました。
バチを持つての体験では、競って大きな音を出される入居者のみなさん。ハーモニカに合わせたの唄声は、いつも増して力強く、美しく「ビックリ」です。盛りだくさんの催しに、皆さん、お疲れ出ませんでしたか。



←フラメンコ（住田様とお仲間）

ボランティアグループ園 総会→



～厨房だより～

5月5日こどもの日



2024 年度



昨年はたくさんのこいのぼりを作りましたが、今年は大きなこいのぼり（オムライス）をみなさんに召し上がっていただきました。お粥の方は、ごはんの部分のリゾットにアレンジし提供しました。しっかりとお味がついたお粥は珍しいので、召し上がっていただきやすかったのではないのでしょうか。手作りならではの表情の違いなども含めて、楽しんでいただけたご様子です。さて、来年はどんなこいのぼりにいたしましょうか…。

6月は**アジサイ**！ **アジサイ作り**も頑張りたいと思います！

編集後記

園田の地域には介護に携わっている事業所やグループが参加している『えんつなぎ』という集まりがある。学習会や地域向けのイベント、各所での取り組みへの協力などを通して顔の見える関係づくりを目指しつつ、色々な考えに触れることができ、気づきのきっかけを与えてくれる有意義な集まりとなっている。

「利用者の立場に立って…」

介護に携わる者としての考え方の基本ではあるが、介護現場での日常を振り返って欲しい。介護者側の思いに偏った関わりにはなっていないだろうか。

広い視野を持ち、様々な側面からアプローチしていくためには、色々な考えに触れ、新たなやり方にトライすることが大切だ。

より良い介護を目指し、職員と共に改善に向けた行動を積み重ねていきたいと強く思う。

施設長 関口 義信